

しあわせの 2020 ピース

第3次三島市地域福祉活動計画（平成28年度～平成32年度）

三島市社会福祉協議会では、住民や自治（町内）会、ボランティア、NPO、社会福祉事業者などが相互に協力して地域福祉活動を推進していけるように、地域福祉活動計画を策定しました。

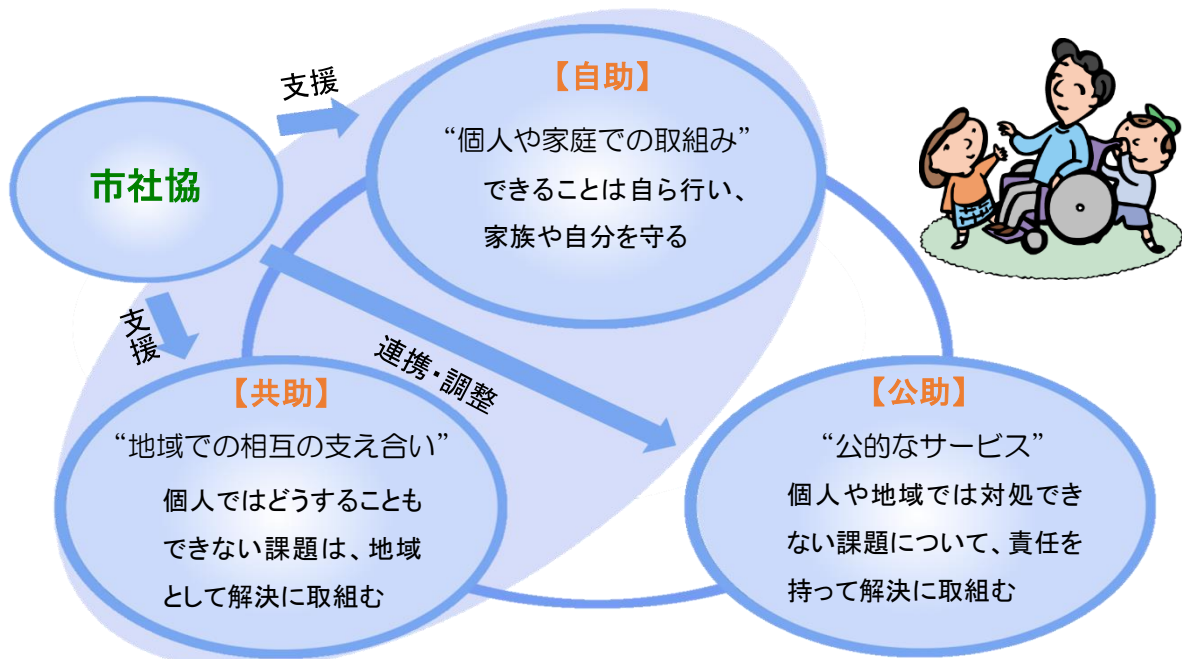
地域福祉活動計画とは

「地域福祉」とは、誰もが住みなれた地域で、安心して自立した生活が送れるような社会を実現するための取組みのことです。

その実現ためには、「住民一人ひとりの努力（自助）」「住民、福祉関係団体、福祉サービス提供事業者、行政等の連携による相互扶助（共助）」「公的な制度（公助）」の多重的な連携によって、地域の生活課題の解決に向けて取組んでいく「地域ぐるみの福祉」の推進していくことが必要です。

そこで、住民及び福祉関係団体や事業者などが地域福祉の推進に主体的にかかわっていただけるように、三島市社会福祉協議会が中心となって「三島市地域福祉活動計画」を策定しました。つまり、この計画は、住民や自治（町内）会、ボランティア、NPO、社会福祉事業者などが相互に協力して、どのように地域福祉を推進していくかをまとめたものです。

多様な生活課題の解決のための自助・共助・公助による取組み



計画の基本理念



ふれあい、支え合い、 思いやりの気持ちを実践するまち

市が策定した「第3次三島市地域福祉計画」では、市民の皆さんの思いやりの気持ちが行動となり、地域全体に伝わっていくようにという思いを込めて、上記の理念を掲げています。

また、安心して子どもを産み育てられる社会、子どもたちがやさしい心を育みながら育っていく社会、障がいがあっても、あるいは高齢になって介護が必要になっても安心して暮らすことができる社会といった、個人の尊厳を尊重し、地域の中でその人らしく安心して暮らしていける地域社会の実現を目指しています。

この計画においても、この基本理念及び目指す社会の実現に向けて取り組めます。

基本目標 1 地域福祉への関心と市民参加を高める意識づくり

市民一人ひとりが地域福祉の必要性を理解するとともに、思いやりの心を育み、その心を行動につなげていけるように、地域福祉を身近に学べる環境づくりや、地域に住む様々な人と交流できる機会づくり、また、ボランティア活動等への参加促進や活動団体への支援などに取組み、地域福祉活動の基盤となる地域での支え合い、助け合いが育まれる環境を醸成していきます。

基本目標 2 地域をつなぎ福祉基盤を充実する仕組みづくり

地域住民、事業者、各種団体、行政など、多様な主体による重層的な支援が提供できるように、市社協では、地域福祉の中核的な役割を担う機関として、支援が必要な市民に情報やサービスが確実に届くような相談・情報提供体制の充実や、サービス利用の支援などに取組みます。また、福祉活動に取り組む団体や市民の育成、社会貢献に取り組む企業の発掘や支援に取り組むとともに、それらの多様な主体をつなげ、支援が必要な人の把握から適切な支援へと結びつけていけるよう、地域をつなげる福祉基盤の整備を推進します。

基本目標 3 健康で安全・安心に暮らせる環境づくり

健康、安全・安心は、多くの市民の関心事であり、地域社会の持続的な発展を図る上でも欠かせないものであり、年齢や性別などを問わず、誰にとっても身近な生活課題でもあります。そのため、市社協では、災害時におけるボランティア受け入れ・派遣の体制づくりへの地域住民の参画促進のほか、市のバリアフリー化に向けた取組みの支援、社会参加・生きがいづくりの機会の創出などを進めていきます。

今後の取組み

基本目標1 「地域福祉への関心と市民参加を高める意識づくり」では

① 地域福祉を身近に学べる環境づくり

【福祉教育事業】 ①講師連絡会の発足、②福祉教育メニュー、③学校に向けた福祉啓発の実施、④市民を対象とした福祉啓発の取組み、⑤企業に向けた福祉啓発の実施、⑥当事者による福祉教育講演会（若年性認知症など）

【広報啓発事業】 ①地域福祉活動計画の周知、②福祉のつどいの開催、③児童・老人・障がい者週間の啓発

② 多様な地域住民との交流づくり

【地域福祉推進事業】 ①世代間交流の開催、②居場所づくり養成講座の開催、③サロン（居場所）支援、④当事者組織の立ち上げ

【福祉教育事業】 ①講師連絡会の発足^{再掲}、②当事者による福祉教育講演会（若年性認知症など）^{再掲}

③ ボランティア活動の促進、支援

【ボランティアセンター事業】 ①ボランティア入門講座、②精神保健福祉ボランティア推進事業、③ボランティア活動の支援、④ボランティア活動の支援（ボランティアグループ活動支援、ボランティア活動保険ほか窓口業務、ボランティアグループ事業費補助、三島市ボランティア連絡協議会の事務局、ボランティア登録の推進、ボランティアコーディネートの推進）

【福祉総合相談事業】 ①ボランティア相談

基本目標2 「地域をつなぎ福祉基盤を充実する仕組みづくり」では

① 解決の一步につながる情報提供・相談支援

【福祉総合相談事業】 ①福祉なんでも相談、②介護なんでも相談、③地域困りごと相談、④ボランティア相談^{再掲}

【広報啓発事業】 ①社協だより「はつらつ」の発行、②ホームページの運営、③おしながきの作成、④福祉のつどいの開催^{再掲}、⑤児童・老人・障がい者週間の啓発^{再掲}

② 支援が必要な方の暮らしを支える環境づくり

【権利擁護事業】 ①日常生活自立支援事業の推進（日常生活自立支援事業の実施、生活支援員の養成）、②成年後見制度の利用促進（成年後見制度の広報・啓発、成年後見制度の相談会の実施）、③法人後見への取組み体制の整備、④市民後見人の養成

【セーフティネット事業】 ①生活福祉資金貸付の実施、②生活一時扶助金の実施、③食糧支援の実施、④歳末見舞金の贈呈

③ 地域資源の発掘・育成、ネットワークづくり

【地域福祉推進事業】 ①福祉ニーズの把握、②世代間交流の開催^{再掲}、③居場所づくり養成講座の開催^{再掲}、④小地域ネットワーク活動の推進、⑤地域組織化への取組み、⑥生活支援コーディネーター業務の推進、⑦サロン（居場所）支援^{再掲}、⑧当事者の会の立ち上げ^{再掲}

【ボランティアセンター事業】 ①社会貢献に取組む企業の発掘・支援、②ボランティア入門講座^{再掲}、③精神保健福祉ボランティア推進事業^{再掲}

【福祉総合相談事業】 ①地域の困りごと相談^{再掲}

【広報啓発事業】 ①地域福祉活動計画の周知^{再掲}

基本目標3

「健康で安全・安心に暮らせる環境づくり」では

① 安全・安心な地域づくり

【ボランティアセンター事業】 ①災害ボランティアの登録制度、②災害ボランティア本部の体制整備（災害ボランティア本部立上訓練、災害ボランティア本部運営マニュアルの定期的な見直し）、③災害ボランティアコーディネーターの養成及び活動支援（災害ボランティアコーディネーター活動支援、災害ボランティアコーディネーター養成講座）

【その他事業】 ①三島市老人福祉センター防犯教室、②社会を明るくする運動の支援

② 誰にとってもやさしい地域づくり

【その他事業】 ①障がい者の外出支援マップづくり、②福祉車両・車椅子・介護補聴器の貸出し、③心のバリアフリーの推進

③ 生きがい、健康づくりを身近に取組める地域づくり

【その他事業】 ①介護予防普及啓発事業、②障がい者スポーツ大会参加支援



計画を実現していくために

基本理念及び目指す社会の実現に向けた三島市社会福祉協議会の方針

三島市社会福祉協議会では、この基本理念に基づき、小地域福祉活動の展開、福祉教育の開催、各種福祉団体とのつなぎ役を担うなど、地域に直接働きかけるような地域福祉活動に取り組めます。

また、地域住民自身による福祉活動が持続的に展開していけるように、地域住民に寄り添いながら支援や指導をすることで、個人の尊厳を尊重し、地域の中でその人らしく安心して暮らしていける地域社会の実現を目指します。

市民の皆様に協力していただきたいこと

幼児から高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、住民一人ひとりの個性を尊重しながら、その人らしく自立した生活を送れるようにするために、この計画では、行政だけでなく、地域の住民や団体、企業など地域の様々な主体が力を合わせて、お互いの不足する部分を補い合いながら協力していく仕組みをつくり、それを持続させていくことを目指しています。

そのため、市民の皆様も、計画の実現に向けてご協力ください。

●●●●● タイトル「しあわせの2020ピース」の意味 ●●●●●

「福祉」という言葉を多くの辞書で調べてみると、「しあわせ」を意味する言葉と書かれています。

「地域福祉」をジグソーパズルにたとえ、「一つひとつの活動」をピースに見立てて、「しあわせな街づくり」というジグソーパズルを地域の皆さんとともに作り上げ「ふれあい、支え合い、思いやりの気持ちを実践するまち」を目指す「第3次三島市地域福祉活動計画」を実現していきたいとの願いを込めて名付けました。目標に向かい、みなさんが少しずつ力を出し合い、参加し合い「地域福祉（地域のしあわせ）の街づくりというジグソーパズルを作りあげていきたい」という願いを込めたものです。「2020」という数字は、この計画が目標としている5年目の西暦を示しています。

発行： 社会福祉法人三島市社会福祉協議会 振興課
静岡県三島市南本町20番30号
TEL：055-972-3221